

伊吹山^{イフキヤマ} 都賀郡吹上村にあり、枋木驛より西北の方にて今道一里餘あり、略 中

標茅原^{シメチカハラ} 都賀郡河原田村にあり、伊吹山より十餘町東の方にて、今迄らぢが原と訛れり、略 中

下野^{シノ}やまめつが原のさしもぐさおのが思ひに身をや焼らむ、略 中

室八島^{ムロヤシマ} 都賀郡總社村にあり、其隣郷に國府村ありて、古へは總社村も國府の分郷なり、略 中

嘸杜^{シノケンキ} 右に同じく、國府村の北の方にて、總社明神と室の八島との間にある森をいふなり、

下野^{シノ}やまめつが原のさしもぐさおのが思ひに身をや焼らむ、略 中

三龜山^{ミカメ} 驛 都賀郡にあり、兵部式に三鴨驛とあるも此所なり、和名抄にもあり、略 中

三香保崎^{ミカホリ} 關 同所なり、八雲御抄に三香保崎慈覺大師誕生の地とあり、今下津原に大師の産湯

あび給ふ跡とて、鹽窪^{シホヒクボ}と云所あり、烏丸光廣卿の日光山紀行にもみえたり、略 中

安蘇川原^{アソノカハラ} 安蘇郡佐野天明驛の西を流る、川なり、往古は天明の東を流れしといへり、水上は

同郡秋山と云所より出て、末は佐野、中川と、もに利根川に入なり、略 中

安蘇沼^{アソノヌマ} 安蘇郡佐野天明驛の東の入口小屋街と云所の田の中にあり、今は大かた田になりて、

わづかに東西四間許、南北六間許の沼となれり、眞菰^{マコモ}生ひ茂りて水もみえぬばかりなり、略 中

安蘇山^{アソノヤマ} 安蘇郡なり、是とさす山はあらで、佐野庄より北につゞきたる山を、すべて安蘇山と唱

ふるなり、略 中

佐野^{サノ} 中川船橋田 安蘇郡佐野庄を云なり、佐野、中川と云は、渡瀬^{ワタラセ}川のことなり、略 中

二子山^{フタコヤマ} 安蘇郡足尾郷の山つゞきにて、日光山より上野國へ越る山中にあり、八雲御抄、藻鹽草

等にも下野とあり、

後撰集^{ゴゼンシツ}よみ人しらす 下野にくたりける女にかたみにそへてつかはしける

ふた子山^{フタコヤマ}ともにごえねどます鏡そこなるかげをたぐへてぞやる

寒川^{サムカハ} 寒川郡にあり、水上は都賀郡河原田村の標茅原より涌出て、枋木驛の西裏を流れ、寒川郡